TAKE FREE

YORII TOWN FREE PAPER

2026 Autumn

YORII ARUKI-WALK AND LOOK-

あっLOOK

A-LOOK YORII

寄居を見て、歩くまちなか情報紙

あっLOOKは、寄居町が発行するまちなか情報紙です。寄居を歩き、町を見て、皆さんのお気に入りを見つけてみてください。

CONTENTS

P2-3　特集　まちなか情報紙「あっLOOK」を振り返る
P4　寄居の秋を彩る　雀宮公園
P5　風雲Yotte GO!　新機能「ARクイズ玉」
P6-7　地域おこし協力隊　新メンバー始動！
P8　寄居町という舞台から、夢のきっかけを。





特集　まちなか情報紙

「あっLOOK」を振り返る

あっLOOK、これまでの歩み

「寄居を見て、歩く」をテーマに、令和4年に創刊したまちなか情報紙「あっLOOK」。まちを歩く楽しさや、いつもの風景の中にある新たな発見を届けたいという思いからスタートしました。

町には、歴史を感じる史跡や、昔から地域に親しまれてきた商店、思わず足を止めたくなる風景があります。しかし、見慣れているからこそ、通り過ぎてしまうこともあるかもしれません。あっLOOKは、そんな身近な寄居を改めて見つめてもらうきっかけになることを目指してきました。

創刊号から№9までを振り返ると、紹介してきた場所やテーマは実にさまざまです。まちなかの飲食店や商店を巡り、その店ならではのこだわりや、そこで働く人たちの思いに触れてきました。また、鉢形城跡をはじめとする歴史ある場所や、寄居町に残る文化、季節ごとに表情を変える風景なども取り上げてきました。



創刊号では中心市街地の散策コースを紹介

取材でまちを歩いていると、改めて感じることがあります。何気なく通り過ぎていた道の先に、長く地域で愛されてきたお店がある。少し足を延ばすと、美しい景色に出会える。お店の方や地域の人と話をすることで、その場所にまつわる物語を知ることもあります。特別な場所だけでなく、普段の暮らしのすぐそばにも、寄居らしさは息づいています。

歩きたくなるまち

あっLOOKでは、そうした一つひとつを紹介しながら、「知る」だけではなく、実際に足を運び、歩いてもらうことを大切にしてきました。気になったお店に立ち寄り、食事や買い物を楽しみながら、いつもとは違う道を歩いてみる。その途中で歴史ある場所や風景に目を向けてみる。そんな何気ない時間の中にも、新しい発見があるかもしれません。

創刊から5年、あっLOOKは今回で№10となりました。これまで多くの場所を巡り、たくさんの人と出会いながら、寄居のさまざまな表情をお届けしてきました。

これからも、歩くからこそ見えてくる景色や、まだ知られていない寄居の姿を探していきたいと考えています。

まち歩きMAP

今回も、寄居町の中心市街地にある飲食店を中心に、立ち寄りたい観光スポットも紹介しています。おいしい食事を楽しみながら、少し寄り道をしてまちを歩く。そんな一日を、あっLOOKと一緒に楽しんでみませんか。

バックナンバーはこちら

まち歩きMAP



玉淀河原
荒川の清流と雄大な自然が広がる、寄居を代表する水辺の観光スポット

雀宮公園
四季折々の自然と歴史が調和する憩いの公園

寄居駅南口駅前拠点施設



1 Yotteco（ヨッテコ）

観光案内やカフェ、特産品などがそろう、寄居駅南口の交流拠点



寄居蜜柑ジュース・ジャム

048-580-7307
寄居町寄居1231番地11
9:00～18:00（物販17:00まで）
休 年末年始



2 今井屋

明治40年創業。寄居名物「タレかつ丼」で親しまれる老舗食堂



タレかつ丼

048-581-0464
寄居町寄居1236番地１
11:00～13:45／16:00～17:00（要予約）
休 日曜日、祝日



3 横浜屋

ジュークボックスが残る昭和レトロな店内で、食事や喫茶を楽しめるお店



チャーシューめん

048-581-4630
寄居町寄居1242番地２
11:00～15:00／17:00～21:00
休 水曜日



4 食堂＆茶屋 CHILL

居心地のよい空間で、心を込めた手作り料理を提供する駅近の食堂＆カフェ



チキン南蛮

048-501-5515
寄居町寄居1097番地６
【日～金曜日】11:00～16:00
【土曜日】11:00～15:00 /17:00～20:00
休 火・水曜日



5 門口寄居

ランナーやハイカーが集う、シャワー付きカフェ



うまみ豚汁セット

048-501-8139
寄居町寄居962番地
【水～金曜日】11:30～15:00
【土・日曜日、祝日】11:30～20:00
休 月・火曜日
※土・日曜日、祝日8:00～荷物預かり可



6 珈琲店 洗濯船

40年以上続く、自家焙煎コーヒーの香りに包まれる喫茶店



ウインナーコーヒー

048-581-4097
寄居町寄居984番地１
11:00～17:00
休 月曜日

◆寄居町商工会、㈱まちづくり寄居の協力により掲載



寄居の秋を彩る 雀宮公園

住所：寄居町寄居643番地１
開園時間：9:00～17:00（４月～９月）／9:00～16:00（10月～３月）

紅葉の名所で、秋を感じる

寄居駅から歩いて10分ほど。荒川沿いに広がる雀宮公園は、自然と歴史を感じながら散策を楽しめる、寄居町を代表する憩いのスポットです。

この公園は、歌舞伎の名優・七代目松本幸四郎が大正２年に構えた別邸「武州寄居町雀亭」の跡地を整備したもので、園内には、雀亭を模して造られた東屋や枯山水、荒川側へと渡るもみじ橋が整備され自然の中を歩きながら往時に思いを馳せることができます。

そして、雀宮公園が一年の中でもひときわ美しい表情を見せるのが秋。秋が深まるにつれ、園内のモミジやイチョウが鮮やかに色づき、公園は赤や黄色に包まれます。木々の間をゆっくり歩けば、足元に広がる落ち葉や、木漏れ日を受けて輝く紅葉など、歩く場所によってさまざまな景色に出会えます。

園内には散策路が整備されており、気軽に自然を楽しめるのも魅力のひとつです。ベンチに腰掛けてゆっくり紅葉を眺めたり、カメラを片手にお気に入りの景色を探したりと、それぞれの楽しみ方で秋のひとときを過ごすことができます。

昼間の陽光に照らされた紅葉はもちろん、夕暮れ時にはまた違った趣を見せてくれます。日常の中で少し足を止め、季節の移ろいを感じる時間を過ごしてみませんか。

歴史と自然が調和する雀宮公園。秋の深まりとともに、園内は一年で最も華やかな季節を迎えます。鮮やかに色づく木々の中で、寄居町ならではの秋を見つけてみてください。

雀宮公園紅葉ライトアップ



ライトに照らされ、昼間とは違う幻想的な雰囲気に包まれる雀宮公園。日中の紅葉散策とあわせて、夜のひとときもぜひお楽しみください。

開催日：11月21日㈯ ～29日㈰
時　間：【平日】16:00～19:00
【土・日曜日、祝日】16:00～20:00
※荒天中止
入場料：無料

雀宮公園フォトコンテスト2026開催！

期　間：11月20日㈮～12月10日㈫
テーマ：「風雅 –Fuga–」
「#雀宮公園フォトコン2026」を付けてInstagramに投稿してください！

ライトアップ・フォトコンテストに関する詳細は町公式ホームページをご覧ください。

町公式ホームページ

観光アプリ

風雲 Yotte GO!
謎解き寄居町
鉢形城攻防戦



新機能「ARクイズ玉」新たな謎に挑戦せよ！

「風雲Yotte（ヨッテゴー） GO! 謎解き寄居町～鉢形城攻防戦～」は、AR・VR等のデジタル技術を活用した観光アプリです。

鉢形城跡や市街地を中心に、観光スポットを紹介するほか、籠城戦ゲームや謎解き宝探し等、子どもから大人まで楽しめるコンテンツとなっており、リリースからさまざまな機能を追加してきました。

そして11月2日㈰から、新機能「ARクイズ玉」が登場します。「ARクイズ玉」は、町内に隠された４つのクイズ玉を、チラシのヒントを手掛かりに探し出し、その場でクイズに挑戦する新機能です。

家族や友人と謎解きを楽しむのはもちろん、謎解きをしながら町の新たな魅力に触れることができるかもしれません。

また、新機能の追加を記念して「探して答えて賞品ゲット！風雲Yotte GO! ARクイズキャンペーン」も開催します。この機会に新機能「ARクイズ玉」をお楽しみください。

探して答えて賞品ゲット！

風雲Yotte GO!
ARクイズキャンペーン

開催期間　11月２日㈰～令和９年 １月31日㈯

①チラシ裏面のヒントが示す場所に行く！
②その場所が正しければ、アプリのマップ画面に Q が出現！
③ Qをタップするとで クイズ玉が出現！ クイズが出題される！
④４ヵ所のクイズに全問正解すると『全問正解おめでとう画面』が出現！

『全問正解おめでとう』画面をYottecoで見せ
アンケートに回答すると
・Nintendo Switch 2
小田原市・八王子市・寄居町
・北条３兄弟絆セット 他
抽選でステキな賞品が当たる！

その他の賞品については町公式ホームページをチェック！

※チラシは寄居町役場４階プロモーション戦略課窓口、寄居駅南口駅前拠点施設「Yotteco」で配布しているほか、寄居町公式ホームページからダウンロードできます。
※キャンペーン終了後も、「ARクイズ玉」は引き続き利用できます。

アプリのダウンロードはこちら

App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

新メンバー始動！

み、地域の皆さんと一緒に、
R、移住・定住の支援など、
「地域おこし協力隊」。
の地域おこし協力隊をご紹介します。

移住定住等支援
滝口（たきぐち）裕一（ひろかず）隊員



@YORII_60
Instagram

Question 1

なぜ地域おこし協力隊に？

母の実家が隣の小川町にあり、私自身も赤十字病院で生まれました。その後、神奈川県で過ごしましたが57歳で早期退職。
「これまで支えていただいた地域社会に恩返しがしたい」と考え、ゆかりのある寄居町の地域おこし協力隊に応募しました。

Question 2

どのような活動をしていますか？

地域おこし協力隊に関する役割への理解や認知度向上を目指し、１年目は「各地域で活動されている団体・グループ・企業などに自ら足を運び、対話と情報発信を重ねること」を一番の目標に活動しています。
着任してからこれまでに、1,500名以上の方々、100以上の団体・グループの方とお話しすることができました。



他自治体の地域おこし協力隊と打ち合わせをする滝口隊員

Question 3

活動を通して町や地域の人について感じたことは？

黙々と寄居町を守り続けてこられた方々の多さに驚かされています。ご自身の時間の大半を使い、守るべき場所、文化、伝統、芸術、産業のために汗を流す姿に接するたび、「私も何かこの方の力になりたい」と内側から力が湧いてきます。
皆さんの深い「寄居愛」がその原動力なのだと肌で感じています。

Question 4

寄居町へ移住を検討されている方に伝えたいことは？

寄居町を一言で表すなら「地味にすごい町」です。一方で文化・伝統・芸術・産業・福祉活動の後継者不足が深刻なのも事実です。
そうした地域の活動の担い手として楽しみながら関われる方、趣味や学びを深めたい方にとって、寄居町は最高の環境であると自信を持ってお伝えできます。

Question 5

読者の皆さんにひとこと

寄居町について、まだまだ勉強中の身です。
「こんな素敵な人・場所があるよ」という情報がありましたら、ぜひInstagramのダイレクトメッセージ等でお知らせください。フォローもしていただけると励みになります。
これからもどうぞよろしくお願いいたします！



魅力向上・集客促進
則包（のりかね）高希（たかき）隊員

X

@YORIIMACHI_KYOURYOKUTAI
Instagram

地域おこし協力隊

都市部から地域へ移り住み
地域の魅力発信や特産品のP
さまざまな活動を行う
４月から新たに活動を開始した２人

Question 1

なぜ地域おこし協力隊に？

埼玉県内を中心に、自転車ツアーのガイドを14年やってきました。自転車ツアーを通して寄居町と関わるなかで、さまざまな町の魅力を知り、私自身にとって身近な存在になっていきました。そして、寄居町が通過点となっている現状を変えたいという思いから、地域おこし協力隊に応募しました。

Question 2

どのような活動をしていますか？

「寄居に来る理由をつくること」と「寄居に来た人がまちなかで時間を使えるようにすること」の2つを目標に活動しています。

その入り口として、寄居町をぐるりと一周するサイクルルート「よりいち」を作成しました。また、XやInstagramで季節の風景など、自転車や徒歩で町を回りながら見つけたものを発信しています。

Question 3

活動の中で反響があったできごとは？

八高線にまつわるエピソードを航空写真と一緒にXに投稿したところ、思いがけず多くの方に見ていただきました。町民の方にとっては見慣れた風景でも、町外の方には新鮮に映るのかと驚きました。

また「よりいち」のモニターツアーの参加者を募集したところ、県外からも応募があり「寄居町に関心を持ってくださる方は確かにいる」という手応えを感じています。

Question 4

任期中に実現したいことは？

寄居町を「通過点」ではなく「目的地」にすることです。

「よりいち」をはじめ、町内を自転車で回るツアーや、寄居町ならではの自然を生かしたアクティビティを体験できるイベントを企画し、カタチにしたいと思っています。

そして、東京から日帰りできる場所として海外の方に向けた情報発信にも挑戦したいです。

Question 5

読者の皆さんにひとこと

今年の4月に来たばかりの新入りです。自転車と徒歩で町を回りながら、実際に見たものや、地域の方から聞いた話を発信しています。「この道は昔こうだったよ」とか、「あの角には昔、こんなお店があったよ」といった話が、僕にとっては寄居を知るための大切な情報です。そういう何気ない話の中に、寄居の魅力がたくさん詰まっていると思っています。ぜひ、いろいろ教えてください！



サイクルルートを試走する則包隊員



寄居町という舞台から、夢のきっかけを。

PROFILE

ヨリイフィルムコミッション（YFC）代表

大橋（おおはし） 正宏（まさひろ） さん

まもなく20周年を迎えるYFC。埼玉県内でも早期にフィルムコミッションを設立し、地域振興に取り組んできた大橋さんに、活動内容やロケ地としての町の魅力、活動に対する思いを伺いました。

新たな地域振興のカタチ

映画やドラマを見ていて「この風景、どこかで見たことがあるな」と思ったことはありませんか。寄居町はこれまで、さまざまな作品の舞台になってきました。

ロケーション撮影を誘致し、撮影が円滑に進むよう支えているのが、ヨリイフィルムコミッション（YFC）です。

YFCは、新たな地域振興の取り組みとして2007年に設立されました。

「昭和レトロなまち並みのロケ地として新聞に掲載されたことをきっかけに、少しずつ問い合わせが来るようになりました」

一本の映画から得た大切な経験

YFCは撮影の誘致に限らず、撮影現場の支援も積極的に行っています。作品ごとにさまざまな要望があり、それに応えてきました。今では当たり前のように行っていることも、設立当初は手探りでした。

なかでもYFCにとって、大きな転機となった作品が映画『ノン子36才（家事手伝い）』です。

「撮影を支える中でさまざまな経験をさせていただきました。当時の経験は、今のYFCでの活動の礎になっています」

まもなく20周年を迎えるYFCは、一つひとつ経験を積み重ねながら、活動を続けてきました。

寄居町のロケ地としての魅力

寄居町の魅力といえば、まず思い浮かぶのは豊かな自然かもしれません。しかし、大橋さんが感じている魅力は、それだけではありません。

「自然豊かなロケーションはもちろんですが、都会とのリアルな距離から生まれる空気感は、作品に違和感なく溶け込むことができる、寄居町ならではの魅力だと思います」



暮らす人にとって当たり前の風景は、作品の舞台として欠かせない風景でもあるのです。

「映画は100年遺（のこ）ると言われます。時間とともに変化するまち並みも、作品として誰かに観てもらうことができます。当時を知る人は懐かしみ、知らない人は思いを馳せる――そんなきっかけにもなるんです」

町の今を切り取り、後世に残すことができる。それもまた、町が作品の舞台になる、大きな魅力のひとつです。

作品を通して、寄居町を知ってもらう

寄居町を舞台に撮影された映画『そらのまなびや』が、『あいち国際女性映画祭2026』の招待作品として上映されました。

「寄居町を舞台にした作品が、招待作品に選ばれたことを光栄に思います。この作品をきっかけに、新たな作品のロケ地として寄居町を選んでもらえたらうれしいです」と、大橋さんは話します。



『あいち国際女性映画祭2026』の様子

『そらのまなびや』
ホームページ

活動の先にある思い

大橋さんがYFCの活動を通して伝えたい「思い」があるといいます。

「寄居町を舞台にした作品に限らず、さまざまな作品から都会的な感性を磨き『この町で自分たちも何か新しいことができるかもしれない』という『夢』につながってほしいと思います」

大橋さんはこれからもYFCの活動を通して、そんな『夢』につながるきっかけをつくっていきます。

編集後記

「あっLOOK」創刊から５年、今号でNo.10という節目を迎えました。No.10の制作に当たり、改めて「寄居を見て、歩く」という原点に立ち返りました。取材を通じて私自身も町のさまざまな場所を訪れ、多くの方と出会う中で、普段見過ごしてしまう風景の中にも、寄居ならではの歴史や人々の営みが息づいていることを改めて感じました。

本紙をきっかけに、皆さんが寄居町の魅力に触れ、新たな発見を楽しんでいただけたらうれしいです。

発行：寄居町プロモーション戦略課　埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180-1　TEL：048-581-2121（代）